

みよし未来環境会議2024 活動成果

令和7年3月 三次市

みよし未来環境会議2024 活動概要

▶活動目的

三次市の未来の環境づくりに若い世代の意思や感性を反映する

▶2代目サステナアンバサダー

19名（高校生9名、中学生10名）

▶活動の柱

- A 知る・学ぶ
- B 実感・体感
- C 共有
- D 計画・実行



活動成果報告

みよし未来環境会議2024

2代目サステナアンバサダー
活動の軌跡



A 知る・学ぶ

▶ 『環境基礎、専門講座』 10/5・3/1

【講師：県立広島大学准教授 小林謙介さん】



▶ GW① 『いいき食堂 in 田幸』 11/23

【いいき食堂代表：中廣章子さん】



▶ GW② 『伝わる・広がる情報発信とは』 1/20

【講師：(一社) 三次観光推進機構 名越陽介さん】



▶ GW③ 『カーターピーナッツの歴史と生産者の思い』 1/27

【講師：カーターピーナッツ研究会会長 杉原達也さん】



A知る・学ぶ

▶ GW④『豊かな森林、理想の森林とは』 2/3

【講師：三次地方森林組合参事 貞廣和則さん】



▶ GW⑤-1『里山イニシアティブを学ぶ』 2/22

【講師：ほしはら山のがっこう 浦田愛さん】



▶ GW⑤-2『地産地消のこだわり』 2/22

【講師：トレッタみよし店長 横山明典さん】



▶ GW⑤-3『生物多様性を考える』 2/22

【講師：めんがめ倶楽部事務局長 坂根憲昭さん】



A知る・学ぶ

▶ GW⑥『マツダ(株)の脱炭素に向けた挑戦』 2/26

【講師：マツダ(株)次世代環境技術研究部門の皆さん】



▶ GW⑦-1『世界を知る！途上国の今』 3/21

【講師：元JICA青年海外協力隊員 ビーバース侑さん】



▶ GW⑦-2『エネルギーの未来を考える』 3/21

【講師：(株)なんでもエネルギー共同CEO 余島純さん】



B 実感・体感

▶施設見学『企業のZEBの取組』8/19
【広島銀行十日市支店】



▶イベント『動物愛護管理～わんにゃんハーモニー～』9/22
【福祉保健センター、十日市親水公園】



▶市外FW①『広島未来のみつばち森づくりフェス』10/26
【安芸太田町グリーンシャワー 向かいの山】



B 実感・体感

▶市内FW『地元学 in 布野～地域の魅力を再発見』11/9.10
【テーマ：①ダチヨウ牧場、②歌人 中村憲吉、③歴史の3道】



▶市外FW②『先進事例を現場で学び感じる』12/21-22

①白谷工房（端材を活かした寄木細工）②美星天文台（星空景観保全）③クニヒロ㈱（干潟保全）④HAKKOパーク



C共有

▶連携WS①『発信力向上Pコラボ企画』10/5

【市教委プロジェクトメンバーの小中学生と意見交流】



▶連携WS②『レゴ・ワークショップ with 神杉小学校』10/19

【地域の拠点づくりをテーマに、神杉小学校の児童とレゴを使って意見交流】



C共有

▶発表①『地元学 in 布野～地域の魅力を再発見～』11/9.10

①活動内容の紹介



②ダチョウ牧場



③歌人 中村憲吉



④歴史の3道



▶発表②『ハピネスフェスタ2024～共生～』11/17

【市民ホールきりり】



C共有

▶発表③『地域×教育 交流フェスタ みよし未来KOUSATEN』 1/18

【市民ホールきりり】



▶意見交流『同世代と考える with 宮崎県都農(つの)中学校の皆さん』 2/7

【企画し、実行してみること】



都農中学校の皆さん

C共有

▶成果発表『活動成果 市長報告会』 3/27



▶成果発表『三次商工会議所会頭との意見交換』 3/27

【熱意を伝える、継続する】



みよし未来環境会議2024

初代サステナアンバサダー 活動の軌跡

- ▶ 4/27 AM 『わんわん HAPPY MARKET～川西 郷の駅～』
PM 『今後の取組・脱炭素宣言のアイデア出し』



▶6/28『みよし未来環境宣言 発表会』

【決意とメッセージを発表し、共有する】



▶6/29.30『みよし自然環境体験』in 作木町

【常清滝の地層考察、ブッポウソウの観察・巣箱づくり、里山の生物多様性を学ぶ】



▶7/10『国家公務員総合職（キャリア官僚）との意見交換』



▶7/20 『古着バトン in 十日市保育所』

【保育所でのリユース・環境保全の取組を学ぶ】



▶7/29 『2代目サステナアンバサダー任命式・オリエンテーション』



▶8/1 『三次ロータリークラブ例会 in 三次商工会議所』

【経済奉仕団体の皆さんに活動成果の発表・啓発】

▶8/21 『マツダ（株）本社・研究所訪問・意見交換』

【本社工場・研究部門の見学，脱炭素研究部門の皆さんへのプレゼン，意見交換WS】



▶9/22『河川清掃 & わんにゃんハーモニー』

【河川清掃活動への参加、動物愛護の取組を学ぶ】



▶9/30『マツダ（株）の皆さんとWeb意見交換&プロジェクト打合せ』



▶10/5『初代SAから二代目SAに活動研究プレゼン』

【神田日向さんの研究テーマ
「二酸化炭素の利用」】



▶11/4『西城サステナブル・エコツアー』

【環境にやさしいエコツーリズムを体感！～三次からJRで西城駅～自転車で熊野神社～】



▶11/17 『ハピネスフェスタ』



▶11/23 『いきいき食堂 in 田幸』



▶12/5 『ゲームプロジェクト』のアイデア出し



▶12/21-22 『先進事例を現場で学び感じる』



▶1/18 『みよし未来KOUSATEN』



▶2/22 『生物多様性を学ぶ&ゲームプロジェクト始動!』

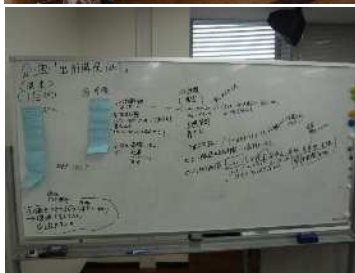


みよし未来環境会議2024

企画作成

D計画・実行

▶ワークショップ『企画書づくり』 3/1・3/15・3/21



D計画・実行

【サステナアンバサダー企画】

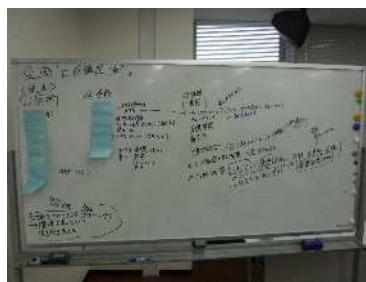
- ▶地球のヒーローになろう！！ 未来のためのエコアカデミー
- ▶みよし未来ピーナッツ革命 ～6次化で知ろう！環境条例～
- ▶ゲーム制作プロジェクト

みよしからみんなの未来を変えていく



地球のヒーローになろう！！

未来のためのエコアカデミー



みよし未来環境会議2024

1.企画の動機・目的

2.目的のための手段

3.企画の課題

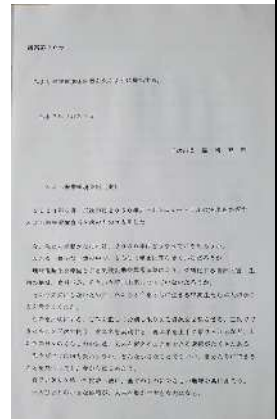
4.企画の流れ

1. 企画の動機・目的

SAとしてイベント発表したが、参加者は興味のある人が大部分
⇒興味のない人も巻き込みたい！
⇒若い人にも知ってもらいたい！

目的① みよし未来環境条例の制定
⇒市全体で取り組む

目的② 環境の取組について改めて周知
⇒環境を考えるきっかけづくり



1. 企画の動機・目的

興味・関心がある層への発表
⇒興味・関心が薄い層へ！（主に小・中学生）



小中学生を対象にするメリット

- ・既知の情報からより深める
- ・講義内容を家庭へ波及する
- ・自身を振り返る機会になる



2. 目的のための手段・内容

- ・生徒数が多い学校から
- ・小学校では中～高学年を対象にする
(内容がある程度理解できる学年)



講義内容:食品ロス 生物多様性について
(身近な内容で理解しやすい,興味や疑問につながるため)

＜小学校＞基礎的な内容

環境とは, 主要な環境問題とその要因・対策など

＜中学校＞基礎3割 発展7割

基礎:小学校の内容 発展:環境問題の広い影響,問題提起など

3. 企画の課題

飽きさせないために…

ゲーミフィケーションを採用

グループワーク中心,ゲームプロジェクトなど



講義の設定時間…

- ・平日に講座を実施(学校を休む必要あり)
⇒各学校に分散させて1日で完結
- ・2時限連続で行う

3. 企画の課題

講座の価値…

・時間を借りている以上、
価値のある時間にする必要がある



・みよし未来環境会議の活動で得た知識を
付加価値として提示

例. LCA, 光害, ハチ, 自治体・企業の実践など

4. 企画の流れ

①準備期間(4~6月)

説明に十分な知識を付ける(講演会, 企業訪問等)

②準備期間(~9月)

・情報の取捨選択 ・説明方法決定 ・資料の用意

③準備期間(未定)

イベント等に参加して練習(反省をもとに改善)

終了次第、実践！



みよし未来ピーナッツ革命

～6次化で知ろう！環境条例～



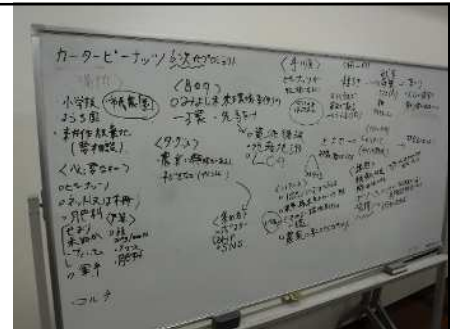
1. 動機・目的

みよし未来環境会議で学んだこと

⇒世間一般に広がっていない

⇒環境への意識が低い

⇒資源循環(LCA)、地産地消を知ってほしい



『みよし未来環境条例の理念の実践と普及』

目的① 学習, 体験, 共有および実行

目的② 環境への配慮と地域経済の活性化の両立

目的③ LCA(ライフサイクルアセスメント)のモデル

2. プロジェクトの概要

【第1段階】自分たちでピーナッツを栽培・生産

- ・三次市の特産品「カーターピーナッツ」の特徴を学ぶ
- ・資源循環や環境配慮にこだわり、ブランド力をアップさせる

【第2段階】連携してピーナッツの加工品を開発

- ・加工品を開発して、地産地消することで、LCAの意識付けや地域経済を活性化させる



2. プロジェクトの概要

対象者

- ・全市民(農業に興味がある人から広げる)

場所

- ・市民農園(保育所や学校の花壇利用も検討)
- ・耕作放棄地

必要なもの

- ・ピーナッツ
- ・肥料(堆肥, 瀬織, 米ぬか)
- ・軍手
- ・ネット, 柵

販売場所

- ・トレッタみよし
- ・三次市内の商業施設



3. 手順

【第1段階】自分たちでピーナッツを栽培・生産



4～6月

- ・種まき (苗植え付け) ・獣害対策
- ・草刈り ・土寄せ

10～11月

- ・収穫
- ⇒カーターピーナッツ研究会に送る



4. 課題と今からの取組

【第1段階】自分たちでピーナッツを栽培・生産

- | | | |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・栽培の場所決め・土づくり・根腐れ対策, 獣害対策・連携する企業や仲間づくり | | <ul style="list-style-type: none">・市民農園や学校に相談・カーターピーナッツ研究会や企業への提案・取組の様子をSNSで拡散 |
|---|--|--|



まずは第1段階の栽培からスタート！



ゲームプロジェクト



背景

・小学生や中学生が環境問題に関する取り組みに参加する機会が少ない

→環境問題に対する**関心の低さ**がある



子ども時代から自ら環境問題について
学べる機会をつくりたい



目的

- ① **楽しみながら** 環境について学ぶことができる
- ② **子供の時** から環境問題について触れることができる
- ③ **三次市から世界** に環境改善を進めることができる
- ④ 若い世代に **選択肢を増やす** ことができる



概要(対象者)

小学校(中学年・高学年)

→ **三次市内すべての学校**(全21校)

中学校 (全学年)

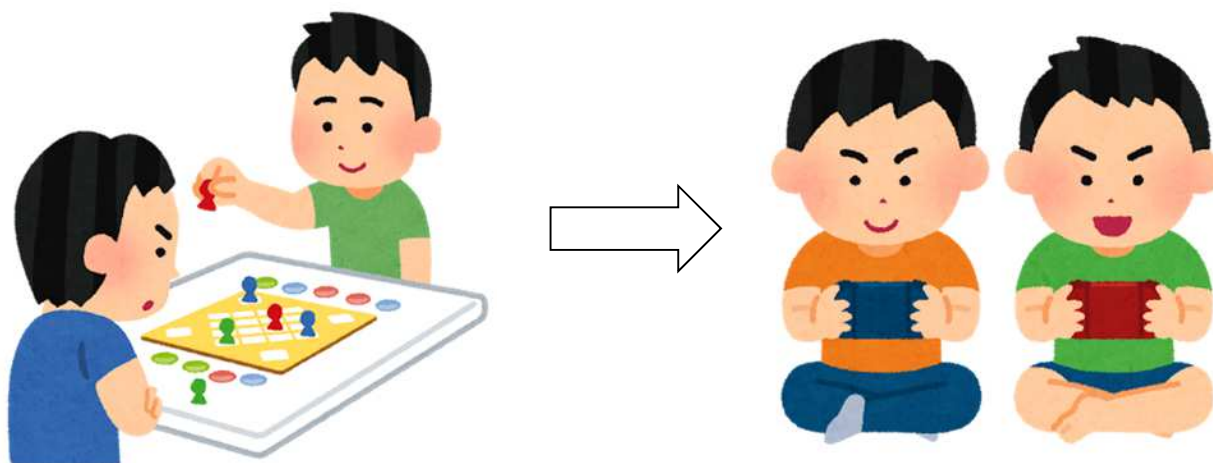
→ **生徒数の多い学校から**

例) 八次、十日市、三次、県立三次中学校



計画

対戦式のゲーム(アナログ → デジタル)



内容

- ・みよし未来環境会議の活動で学んだことを取り入れる
(フィールドワーク, ワークショップなど)

